

自分たちでできることを考える

令和5年11月25日(土)、5回目の市民ワークショップが開催されました。今回のテーマは「自分たちでできることは？」。これまでに挙げられたアイデアを少しでも多く実現するために“市民の力”で出来ることについて考えていただきました。

さらに、嘉穂劇場再開後にどんなスタッフと一緒に地域を盛り上げていきたいか「必要な専門家や役割」についても話し合いました。皆様のご意見紹介していきます！

まずは“芝居小屋勉強会”を企画する！？

2つのグループを通して最も多かったご意見は「市民ボランティア」として運営のお手伝いをするというものでした。その中で、参加者より「継続性・持続性あるボランティア活動を行うには、全体をコーディネートする専門スタッフや、マニュアル作成、育成&研修システムの構築が求められる」とのご発言がありました。他施設でも市民サポーター団体を立ち上げている事例は多く見られますが、高齢化やメンバーの固定化が問題となるケースもあります。若い世代も参加したいと思えるようなオープンなボランティア組織を目指していきたいですね。

また、「まず市民が嘉穂劇場の歴史や芝居小屋、舞台技術について学ぶことから始めては？」というご意見も。様々なバックグラウンドをお持ちの皆さんが主催者&講師として勉強会を開催してみるとより多くの方々に関心を持ってくれるかもしれませんね！



嘉穂劇場にどんなスタッフや専門家がいてほしい？

再開後の嘉穂劇場スタッフ求められる専門性や役割についてもご意見を頂戴しました。「嘉穂劇場や飯塚の歴史を言葉にして発信できる人、学校や地域団体とのネットワークを持つ人、外国語対応できるスタッフ、お茶子さん※」などのアイデアが集まりました。

また、嘉穂劇場の魅力を県内外に広くアピールするために、歌舞伎役者や市内アーティストに運営に参画してもらいたいというご意見も。芸術監督や名誉館長、アドバイザー、アソシエイトアーティスト※などの役職を導入している他の文化施設を参考にしながら、嘉穂劇場だからこそその組織体制を検討してまいります！

※お茶子さん …劇場、芝居小屋等で客席案内や飲食提供をするスタッフのこと。近年は「レセプションリスト」と呼ばれることが多い。

※アソシエイトアーティスト…一定期間、劇場と提携して創作活動等を行うアーティストのこと。

次回ワークショップ予告

第6回 12月23日(土)

「まとめ&特別講演会」
現在作成中の改修計画・管理運営計画の途中経過を報告させていただいた後、専門家による特別講演会を開催いたします。皆様のご参加お待ちしております！

WS意見一覧は裏面へ！

なんでもアンケート意見ご紹介

色々な方の話を聞かせていただき、勉強になりました。私自身も思い入れがある嘉穂劇場の為に何が出来るかを考えていきたいです。

いざ、何がやれるの？と現実を突きつけられた感じが…そろそろ夢物語じゃダメだね！といった気がして良かったです。

これからは、まず行動、一人一人がボランティア精神を発揮して前に進むべきと思いました。

コスモスコモンや他の劇場などでお芝居(時代劇)を公演して、飯塚の町のイメージがより芝居の町につながって欲しいです。

チーム	現在の計画や開館後の運営にどんな立場に関わりたい？ 市民にできる運営サポートとは？	嘉穂劇場だからこそ必要なスタッフとは？ 運営者にはどんな役割があるとよい？
メジロ・ウグイス	<p>○映画(映像)制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像、フィルムアーカイブ ・映画関係企業に相談してみる ・シネマ歌舞伎 <p>○広報PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトや機関誌などの広報活動サポート ・チラシ、ポスターの作成 →デザイナー経験あり ・看板のデザイン作成 ・見学者用のビデオ作成 ・外部団体視察受け入れ&ツアー <p>○育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジニアの育成します！ <p>○スタンプラリーの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎街道 ・商店街 	<p>○参加型イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンドやっている子どもや学生がステージに立ったり創造活動できる機会をつくる ・イツカジャズフェスティバルの企画制作担当 ・市民参加型イベントなど市民を巻き込んだ企画の実施 ・花柳流踊り大会 ・茶会大会 ・定期的に美術展示室として一般市民が利用できるように <p>○学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校とパイプを持っている人材 ・小中高等学校発表会を行う →学校と連携する <p>○色々できる人、スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画祭や歌舞伎公演の企画ができる人 ・スタッフは緊急時の対応ができるように研修、育成を徹底 ・キッチンカー業者との提携 ・福岡市民ホールなど他施設とのネットワークを持つ人材 <p>○おもてなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶子さん ・ホスピタリティの精神 <p>○芝居小屋ならではの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化や歌舞伎、嘉穂劇場の歴史などに詳しい人材 ・歴史、文化を言葉にできる人、説明できる人 ・着付けが出来る人 →アマチュア団体へのサポートや観光客への着付けサービス <p>○ボランティア体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティア団体の運営や全体調整できる体制を徹底 ・ボランティアコーディネーター →ボランティアを育てる人、集める人 ・ボランティアのマニュアル化 <p>○劇場の“顔”になる人!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村獅童氏を運営のトップに！芸術監督！ ・能楽師、木月晶子氏とのコラボ ・そのだ正治氏にデザインのプロデュースをしてもらう <p>○提携団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的or常態的な催しを行う団体、劇団との提携 ・実演団体との連携
ツバメ	<p>○ボランティア・サポーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂劇場のサポーター員 →チラシ配り等 ・市民ボランティア ・サポーター員として具体的に関わりたい →ボランティアとして自分が役に立っている！と思える ・劇場サポートスタッフとして、ボランティアとして働きたい ・市民ボランティアグループを作る →コーディネーターが必要 ・ボランティア、スタッフの継続性、次につながる仕組みが必要 ・若い人にもボランティア・スタッフとして関わってもらいたい ・運営委員、実行委員を作る <p>○ボランティアの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇場見学案内人ボランティアとしてしっかり育成&研修 ・パンフレット制作&案内 ・嘉穂劇場の歴史勉強会メンバーとして参画したい ・通訳としてボランティア活動 ・飯塚には美術館がないので、作品を展示することで参画 →飯塚美術協会委員としてメンバーに声掛け <p>○広告・宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP作り(広告etc…) ・嘉穂劇場アピール活動の立案 スタッフ(広報営業部門) ・嘉穂劇場の宣伝活動 ・口コミでイベントを宣伝する ・嘉穂劇場スタッフとして他都市に宣伝、ボランティアに行き、知名度を上げる <p>○劇の演出や出演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代劇など演劇公演への出演 ・時代劇の演出(企画、制作部門) ・舞台美術道具の管理と制作(舞台美術部門) ・時代劇俳優の育成(市民劇団) 	<p>○歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史建造物の専門家 ・嘉穂劇場や飯塚の歴史を発信できる人 ・歴史に詳しい人 <p>○舞台美術・道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台道具の管理スタッフ ・舞台技術育成講座 ・美術スタッフの育成 <p>○若年層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に協力を募る ・地元の大学、高校と連携する <p>○外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の説明ができる方 ・外国語のできる案内スタッフ <p>○商店街・企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂劇場が主になるのは当然ですが、周りの商店街などの協力を ・地元企業と連携する <p>○売店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売店スタッフの確保 ・売店等に売り子として行った事があります <p>○環境面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇場にはピアノくらい置いてほしい(設置整備ボランティア) ・歌手等よく観に行きました、駐車場に大変困りました <p>○トータル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制の各部門にサポートスタッフを付ける ・いろいろなサポートができる人たちに参加していただく ・お芝居に詳しい人